

言葉遊びで

楽しくふり返り

札幌市立二条小学校 横藤 雅人

楽しく活動を終えた子どもたち。たくさんの発見や、その時の気持ちを残しておきたいものです。でも、話すのも、文章にするのもまだ苦手な低学年。言いたいことがうまく表現できないものです。

そこで、こんな方法はいかがでしょう。

かたみち〜!!

この子は、「楽しい」を連発しています。自分の活動に満足しているのでしょう。言葉の中から、自己評価につながる要素も読み取ることができます。

また、全員が同じ文字から言葉をつくっていくことで、

「あっ、〇〇くんも桜のことを書いたの？」

などと、自然な交流も生まれます。

し が さ る は

しがつはほんとに

たのしいな

がっこうはほんとに

たのしいな

さくらがさきそう

こぶしはさいていた

るるんたのしい

はるさがし

はあはあいってはしたよ

か つ か い せ

先生やみんなと

いきもののせわとかを

いっしょうけんめい

がんばるけれど

ふしぎなことに

つかれない

だってたのしいから

かんどういっぱい

せいかつかだいすき



学期末には、「生活科」でつくってみると、長いスパンのふり返りとともに、自己評価をすることができます。